

## 標準委員会 第39回リスク専門部会議事録

1. 日 時 2016年8月22日（月） 13:30～16:55

2. 場 所 5 東洋海事ビル D 会議室

3. 出席者（敬称略）

（出席委員）山口部会長（途中から退出），山本副部会長，成宮幹事，青木，阿部，北村，桐本，倉本，栗坂，曾根田，高橋，武部，竹山，中田，丸山，村田，吉田（17名）

（代理委員）井田三男（日本ユー・エヌ・エス／松本），山中勝（日本原子力発電／鈴木）（2名）

（欠席委員）岡本，Woody，越塚，高田（4名）

（委員候補）喜多利亘（東京電力ホールディングス）（1名）

（常時参加者）鈴木，菅谷（2名）

（欠席常時参加者）野村，堀田（2名）

（説明者）【レベル3PRA分科会】木村幹事，成宮幹事，林，【PRA活用検討タスク】成宮世話役，倉本常時参加者，林，【JIWGステアリングチーム】村田リーダー，成宮，【PRA活用検討タスク】成宮世話役，林，【リスク専門部会】成宮幹事，【核燃料施設リスク評価分科会】吉田副主査，【レベル1PRA分科会】橋本幹事（延べ13名）

（事務局）中越，川村，井関，谷井（4名）

4. 配付資料

配付資料

- |            |   |
|------------|---|
| RKTC39-0   | 第39回リスク専門部会 議事次第  |
| RKTC39-1   | 第38回リスク専門部会 議事録（案）  |
| RKTC39-2   | 人事について  |
| RKTC39-3-1 | “原子力発電所の確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル3PRA 編：201X”の標準委員会決議投票結果         |
| RKTC39-3-2 | “原子力発電所の確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル3PRA 編：201X”改定案の標準委員会決議投票での意見対応表 |
| RKTC39-4   | PRA 標準のあり方，構成にかかる今後の進め方について                                   |
| RKTC39-5   | JIWG にかかる状況報告及び第1回 JIWG 向け資料について                              |
| RKTC39-6-1 | リスク専門部会の活動実績と今度の取組：2016（案）                                    |
| RKTC39-6-2 | リスク専門部会標準策定5カ年計画（案）   |
| RKTC39-7   | 標準英訳の要望調査（報告）   |
| RKTC39-8   | 標準委員会用語辞典へのリスク専門部会からの意見                                       |
| RKTC39-9   | “原子力発電所に対する津波を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：201X”改定案の標準委員会決議投票結果     |
| RKTC39-10  | “核燃料施設に対するリスク評価に関する実施基準：201X”案のリスク専門部会意見募集結果                  |
| RKTC39-11  | “原子力発電所の停止状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準                           |

(レベル1 PRA 編 : 201X” 定例改定に関する中間報告

- RKTC39-12-1 誤記チェックの結果について (レベル1PRA 実施基準)
- RKTC39-12-2 誤記チェックの結果について (PRA 用パラメータ推定実施基準)
- RKTC39-13 ASAMPSA に関する情報提供
- RKTC39-14 転載許諾手続きの迅速化に向けた提案
- RKTC39-15 分科会・作業会の活動状況について

参考資料

- RKTC39-参考 1 リスク専門部会委員名簿
- RKTC39-参考 2 標準委員会の活動状況

説明資料

- RKTC39-説明-1 原子力学会の行動指針
- RKTC39-説明-2 倫理規程 (行動の手引)
- RKTC39-説明-3 標準委員会活動基本方針
- RKTC39-説明-4 行動指針と倫理規程について (OHP)

## 5. 議事内容

議事に先立ち、事務局から開始時点で委員23名中、19名の出席があり、委員会成立に必要な委員数(16名)を満足している旨、報告された。

### (1) 前回議事録(案)について (RKTC39-1)

前回議事録(案) 3出席者に説明者を追記することで承認された。

### (2) 人事について (RKTC39-2)

事務局から RKTC39-2 に基づいて、専門部会及び分科会の人事について以下の提案があり審議を行った。

#### 1) 専門部会

##### ① 委員退任の確認

- 松本 精二 (日本エヌ・ユー・エス)
- 山中 康慎 (東京電力ホールディングス)

##### ② 委員の選任決議

- 井田 三男 (日本エヌ・ユー・エス)
- 糸井 達哉 (東京大学)
- 喜多 利亘 (東京電力ホールディングス)

##### ③ 委員の再任決議

- 山口 彰 (東京大学)
- 成宮 祥介 (関西電力)
- 岡本 孝司 (東京大学)
- 越塚 誠一 (東京大学)
- 桐本 順広 (電力中央研究所)
- 栗坂 健一 (日本原子力研究開発機構)
- 吉田 一雄 (日本原子力研究開発機構)
- 倉本 孝弘 (原子力エンジニアリング)

曾根田 秀夫（日立 GE ニュークリア・エナジー）  
竹山 弘恭（中部電力）

## 2) 分科会

### ① 委員退任の確認

核燃料施設リスク評価分科会

山中 康慎（東京電力ホールディングス）

リスク情報活用ガイドライン分科会

分科会の廃止に伴い、委員全員退任。

（別表に 2009.08.27 時点の名簿）

レベル 1 PRA 分科会

上村 孝史（東京電力ホールディングス）

鎌田 信也（原子力安全推進協会）

レベル 2PRA 分科会

松尾 俊弘（東京電力ホールディングス）

### ② 委員選任の承認決議

レベル 1PRA 分科会

橋本 和典（電力中央研究所）

喜多 利亘（東京電力ホールディングス）

レベル 2PRA 分科会

原口 龍将（三菱重工業）

美原 義徳（鹿島建設）

渡邊 学（東京電力ホールディングス）

核燃料施設リスク評価分科会

武田 和仁（東京電力ホールディングス）

### ③ 委員の所属変更の確認

レベル 2PRA 分科会

橋本 和典

旧 原子力安全推進協会

新 電力中央研究所

レベル 3PRA 分科会

橋本 和典

旧 原子力安全推進協会

新 電力中央研究所

核燃料施設リスク評価分科会

橋本 和典

旧 原子力安全推進協会

新 電力中央研究所

### ④ 新幹事の確認

レベル 1PRA 分科会

橋本 和典（電力中央研究所）

### ⑤ 常時参加者の登録解除の確認

レベル 1PRA 分科会

錦見 篤志 (原子力安全推進協会)

レベル 2PRA 分科会

井上 はるか (原電エンジニアリング)

渡邊 学 (テプコシステムズ)

野田 満靖 (関西電力)

レベル 3PRA 分科会

吉田 至孝 (原子力安全システム研究所)

外的事象 PRA 分科会

前田 佳祐 (テプコシステムズ)

⑥ 常時参加者登録承認の確認

レベル 1PRA 分科会

鎌田 信也 (原子力安全推進協会)

レベル 2PRA 分科会

前田 佳祐 (テプコシステムズ)

長江 尚史 (関西電力)

野崎 拓馬 (原電エンジニアリング)

レベル 3PRA 分科会

楠木 貴世志 (原子力安全システム研究所)

外的事象 PRA 分科会

松中 修平 (テプコシステムズ)

## リスク情報活用ガイドライン分科会（2009.08.27時点）

役職	氏名（敬称略）	所属
主査	平野 雅司	（独）日本原子力研究開発機構
副主査	山口 彰	大阪大学
幹事	成宮 祥介	関西電力（株）
	植田 伸幸	（財）電力中央研究所
	内田 剛志	（独）原子力安全基盤機構
	金子 真幸	経済産業省 原子力安全・保安院
	河井 忠比古	（社）日本原子力技術協会
	倉本 孝弘	（株）原子力エンジニアリング
	栗坂 健一	（独）日本原子力研究開発機構
	古作 泰雄	経済産業省 原子力安全・保安院
	越塚 誠一	東京大学
	小島 重雄	米国機械学会 (ASME)
	佐治 悦郎	三菱重工業（株）
	水門 大輔	北陸電力(株)
	関根 啓二	日本原燃（株）
	高橋 浩道	三菱重工業（株）
	西村 洋一	（社）日本原子力技術協会
	橋本 和典	（株）東芝
	久持 康平	日立GEニュークリア・エナジー（株）
	藤本 春生	（独）原子力安全基盤機構
	増田 貴広	東京電力（株）
	村松 健	（独）日本原子力研究開発機構
	門谷 光人	日本原子力発電（株）
	米山 充	（株）テプコシステムズ

委員退任等が確認され、審議の結果、委員の選任等が決議された。

### (3) 説明事項

“原子力学会で定めた倫理規程と行動の手引に関する周知について”（RKTC39-説明-1, RKTC39-説明-2, KTC39-説明-4）

リスク専門部会の成宮幹事から RKTC39-説明-1, RKTC39-説明-2, KTC39-説明-4, KTC39-

説明-4に基づいて、下記内容について説明があった。

(1)原子力学会の行動指針+倫理規程（行動の手引）

(2)標準委員会活動基本方針

(4)【報告・審議】“原子力発電所の確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル 3PRA 編：201X”改定案の標準委員会決議投票結果について（RKTC39-3-1, RKTC39-3-2）

事務局から RKTC39-3-1 に基づいて、“原子力発電所の確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル 3PRA 編：201X”改定案は標準委員会決議投票で可決されたことが報告された後、引き続きレベル 3PRA 分科会の木村幹事、成宮幹事、林から RKTC39-3-2 に基づいて、決議投票で受付けた意見に対する対応案が報告された。審議の結果、対応案は編集上の修正であること及び対応案の内容についてメールでの審議を行った後に対応案を標準委員会で報告することが決議された。

質疑等は以下のとおり。

Q:コメント No.7 について、安全目標の説明をすることは理解するが、本コメントは評価格子の設定によっては人口も変えられるのではないかと、という指摘であり、その点を説明して安全目標と比較できる指標であることを示すべき。標準に記載の“評価対象範囲（p.19 の 1 行目）”と、評価格子（の範囲）との関係が分からないので、中井委員指摘のコメントが出たのではないかと。評価格子をどう定めるべきかを書くべき。

Q:コメント No.9 について、概要が公開、主が非公開含む、と使い分けをしている理由を説明すべき。

A:No.9 は例として挙げており、使い分けを要求している訳ではない。

Q:わざわざ使い分けしているのは何故か。例として挙げるのであれば公開・非公開を書く必要はなく、また位置づけが異なるのであれば、その旨を説明すべき。

A:拝承。対応を検討する。

Q:No.7 は、評価格子が何なのかを説明するべき。評価格子とある距離の範囲は意味合いが異なるため、解説を工夫して欲しい。

A:拝承。

(5)【報告・審議】PRA 標準のあり方、構成にかかる今後の進め方について（RKTC39-4）

PRA 活用検討タスクの成宮世話役、倉本常時参加者、林から RKTC39-4 に基づいて、PRA 標準のあり方、構成にかかる今後の進め方について報告があった。

審議の結果、この提案に沿って、今年度においては、レベル 1PRA 分科会及び外的事象 PRA 分科会にて検討を進めていくことが決議された。

(6)【報告・審議】JIWG にかかる状況報告及び第 1 回 JIWG 向け資料について（RKTC39-5）

JIWG ステアリングチームの村田リーダー、成宮から RKTC39-5 に基づいて、JIWG にかかる状況報告及び第 1 回 JIWG 向け資料について報告があり、承認された。

(7)【報告・審議】リスク専門部会の活動実績と今度の取組：2016 について（RKTC39-6-1, RKTC39-6-2）

PRA 活用検討タスクの成宮世話役、林から RKTC39-6-1, RKTC39-6-2 に基づいて、リスク専門部会の活動実績と今度の取組：2016 について報告があり、その内容について 1 週間のメール審議を行うこととなった。

質疑等は以下のとおり。

C:リスク専門部会の活動を広めるものであり、早めに仕上げて秋の大会で配布したい。

A:拝承。

(8)【報告】標準英訳の優先度調査について（RKTC39-7）

リスク専門部会の成宮幹事から RKTC39-7 に基づいて、標準英訳の優先度調査について報告があった。

**(9)【報告】用語辞典への標準委員会コメントへの対応に関する意見募集について (RKTC39-8)**

リスク専門部会の成宮幹事から KTC39-8 に基づいて、用語辞典への標準委員会コメントへの対応に関する意見募集について報告があった。

質疑等は以下のとおり。

Q:引用規格にはならないのか。リスク専門部会用語の定義の扱いは。

A:用語辞典はあくまでも辞典であり、引用規格にはならない。用語の定義は存続するので、各 PRA 標準の引用規格として従来通り用いられることになる。

**(10)【報告】“原子力発電所に対する津波を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：201X”改定案の標準委員会決議投票結果について (RKTC39-9)**

事務局から KTC39-9 に基づいて、“原子力発電所に対する津波を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：201X”改定案の標準委員会決議投票の結果、意見付保留であるとの報告があった。

**(11)【報告】“核燃料施設に対するリスク評価に関する実施基準：201X”案のリスク専門部会意見募集結果について (RKTC39-10)**

核燃料施設リスク評価分科会の吉田副主査から KTC39-10 に基づいて、“核燃料施設に対するリスク評価に関する実施基準：201X”案のリスク専門部会意見募集結果について報告があった。

今回の意見募集ではコメントが無かったが、次回の専門部会では、本報告を予定しているので、その際には意見を頂きたい旨の発言があった。

**(12)【報告】停止時 PRA 実施基準改定案の進捗中間報告と L1PRA 実施基準・PRA 用パラメータ推定実施基準案の誤記チェック結果について (RKTC39-12-1, RKTC39-12-2)**

レベル 1PRA 分科会の橋本幹事から RKTC39-12-1, RKTC39-12-2 に基づいて、停止時 PRA 実施基準改定案の進捗中間報告と L1PRA 実施基準・PRA 用パラメータ推定実施基準案の誤記チェック結果について報告があった。停止時 PRA 実施基準改定案については専門部会での意見募集を行うこととなり、誤記チェックについては次回標準委員会に報告することとなった。

**(13)その他**

・ **ASAMPSA に関する情報提供 (RKTC39-13)**

リスク専門部会の成宮幹事から RKTC39-13 に基づいて、ASAMPSA に関する情報提供について報告があった。

・ **転載許諾手続きの迅速化に向けた提案 (RKTC39-14)**

リスク専門部会の成宮幹事から RKTC39-14 に基づいて、転載許諾手続きの迅速化に向けた提案について報告があった。

- ・ 次回のリスク専門部会は、2016 年 11 月 24 日(木)午前開催となった。

以上